

# 第2回 臨時会

# 戸別受信機147台前倒し 防災無線デジタル化請負契約の変更

11月29日に第2回臨時会を行い、報告3件、議案8件が提案され、原案どおり可決しました。

### 変更事項

当初契約金額9482万円を1億802万円に、また工期は議決の日から平成31年2月28日までを、平成31年3月22日までに変更。

### 変更理由

戸別受信機の整備を当初の計画より早く進めるために、147台増の397台にする。

## 第2回 臨時会賛否一覽

議案番号	議案名	議員名	結果		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
			賛成	反対	富岡 大志	大林 裕子	金谷 康弘	五十嵐 善一	柴崎 徳一郎	竹内 憲明	高山 武尚	村越 哲夫	坂田 一広	飯島 衛	岩崎 信幸	平形 薫	山畑 祐男	小池 春雄	岸 祐次	馬場 周二	
議案第59号	平成30年度防災行政無線放送施設デジタル化設置工事請負契約の変更…上記参照		14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	職員の給与に関する条例の一部改正…官民較差の是正を求めた人事院勧告に準拠するため、勤勉手当の支給率及び職員給料表水準を引き上げる		14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	特別職の職員の給与及び旅費支給条例の一部改正…職員の給与改定に準じ、期末手当を引き上げる		14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正…職員の給与改定に準じ、期末手当を引き上げる		14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	平成30年度一般会計補正予算…給与改定に伴い、424万円を増額する		14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	平成30年度公共下水道事業特別会計補正予算…給与改定に伴い、12万円を増額する		14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	平成30年度農業集落排水事業特別会計補正予算…給与改定に伴い、8万円を増額する		14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	平成30年度水道事業会計補正予算…給与改定に伴い、収益的支出を16万円増加、資本的支出を3万円増加する		14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥 議長は採決に加わっていないため「-」で表示

## 議会だより モニター会議

11月15日に議会だよりモニター会議を開催しました。退任の人には、1年間振り返っての感想をお聞きし、新任の人には委嘱状の交付や活動内容についての説明を行いました。議会や議会だよりについて、貴重な意見をいただきました。

アンケートや会議でいただいた意見を参考に、皆さまに関心をもっていただける広報紙づくりに取り組んでいきます。

退任の皆さま、1年間大変お世話になりました。新任の皆さま、1年間よろしくお祈いします。



### 議会だよりモニターとは

16人で、任期は1年です。議会だよりの内容についてのアンケート調査への回答、モニター会議への出席をしていただいています。

一ト



## 群馬県町村議会議長会研修会 10/26

### 吉岡町文化センター

#### 「町村議会議員の議員報酬等のあり方について」

山梨学院大学大学院研究科長・法学部教授 江藤 俊昭 氏

議会改革の歴史と「住民自治の根幹」としての議会を作動させていく必要がある。議会が行政の追認機関となるのではなく、議決責任を自覚し、住民との意見交換を考えていかなければならないとの講義を受けました。

#### 「真の地方創生と地方議会の役割」

早稲田大学公共経営大学院教授・元総務大臣 片山 善博 氏

地方創生関係の計画の制定や見直しについて、議会として対応していく必要がある。執行任せにせず、議会としても地域の課題を把握し、地方創生について提案や見直しをしていくような対応が望まれると感じました。



## 北群馬郡町村議会議長会研修会 11/6

### 榛東村役場

#### 「コンプライアンスとハラスメント」 日本経営協会講師 樋口 満雄 氏

議会の場における議員の職員への発言、議会の質疑での名誉毀損などを、講師の実体験をもとに事例を考えました。町も議会もコンプライアンスの確保が重要であり、ハラスメントのない職場環境を実現し、信頼される自治体を目指していく必要があるとのことでした。

#### 「町村議会のあり方に関する研修」

山梨学院大学大学院研究科長・法学部教授 江藤 俊昭 氏

町村議会をめぐる動向として、なり手不足などの問題から始まった議会改革が検討されています。議会のあり方について、今現在の議員のためだけではなく、将来の議員のためを考えて検討していかなければならないとのことでした。また、議員の活動や魅力を住民に伝えていくことも必要であると感じました。  
(議長 馬場 周二)



## 議会広報 常任委員会 群馬県町村議会 広報研修会 11/14

### 群馬県市町村会館

#### パブリック リレーションズ 2018

広報アナリストの吉村 潔氏による、議会広報研修会がありました。

「住民に読まれ、支持される広報紙づくりのポイント」として、

- ①変わる議会広報 住民が身近に感じる広報へ
- ②議会だよりの役割 より良いあり方 関係づくり
- ③定例会の広報 論点をクローズアップ
- ④定例会以外の広報 インタビュー 意見交換会
- ⑤紙面づくりのヒント 目次より中を読みたくなる見出しに

などについて、全国の市町村議会だよりを事例に、分かりやすく説明いただきました。

後半は、玉村町・長野原町両議会だよりのクリニックを通して、良いところは正点など学びました。

今後一層、町民に親しまれ、読みやすい広報づくりに、生かしたいと思います。  
(委員長 金谷 康弘)



# 視 察 研 修 リ ポ

## 議会運営 委員会

## 議会活性化について学ぶ 北海道 芽室町・栗山町

10/4・5

芽室町議会は、全国議会改革度1位の経歴があり、「二元代表制」としての真の役割を模索し、「追認議会」からの脱却を目指していました。

議会モニターやサポーターを設置し、提言その他意見を聴取し、議会運営に反映。また、タブレット端末を議員に配布し、議会のICT化に取り組んでいました。

栗山町議会は、全国で最初に議会基本条例を制定。議員が地域に出向き、議会活動の状況を直接町民に報告し、議会活動の意見や批判、町政に対する提言などを聴く「議会報告会」を開催していました。

大変すばらしく、意義ある視察となりました。

(委員長 岸 祐次)



## 産業建設 常任委員会

## 農業振興策と都市型農業を研修 埼玉県杉戸町 神奈川県藤沢市

10/11・12

杉戸町では、農産物を積極的に取り扱う飲食店や食品加工所などを、「杉戸産農産物利用店」に認定する事業を行っていました。目的は地産地消の推進です。農産物をそのまま販売するにとどまらず、高付加価値化して販路を拡大。6次産業化、農と商の連携、観光とのコラボレーションを期待しており、認定基準もそれに沿うものになっていました。平成29年の認定事業者は38店舗であり、地元銘木店の杉の木の認定看板が授与されたそうです。



藤沢市のリッチフィールド(株)では、相鉄グループが所有する3千㎡のフランス製の温室を借りて、トマトとパプリカの生産をしていました。高単価で希少な品種のみ栽培していて、顧客はレストランチェーン店であり、一般向けに廉価販売はしていませんでした。

今回の視察研修では、農業振興策と都市型農業について見聞を広めることができました。有意義な研修であり、町の産業振興に生かしたいと思います。

(委員長 平形 薫)

## 予算決算 常任委員会

## ICT化でより身近な議会に 三重県鳥羽市

10/24

鳥羽市議会では、一般会計予算決算と特別会計予算決算は、議長を除く全議員で審査を行っているとの事でした。また議員間討議も活発で、集約した意見を議会から市長に提言書として提出しています。ICT化の推進では、議員がタブレット端末を契約。通知文書や委員会資料などのメール送信やクラウドによるペーパーレス化がされていました。また、モニターにPC画面を表示しての一般質問が行われていました。

吉岡町議会では、今後先進地事例に倣い一般会計予算決算、特別会計予算決算の全議員による審査方法の取り組みとICT化への取り組みで、議会が町民にとって身近になるよう、努力が必要であることを強く感じた視察でした。

(委員長 小池 春雄)

